

報告会で出された主な意見等

1 議会報告に関する質問等

(1) 3月定例会及び6月定例会

	質問等	答弁
1	市内にドクターヘリの着陸ポイントは何か所あるのか。	市内に37か所あります。
2	障がい者自立支援福祉事業費の扶助費とはどのようなものか。	居宅介護給付事業や生活介護給付事業等、15ほどの事業に取り組んでおり、障がい者の在宅生活、日中活動、施設・グループホーム、就労支援などのためのものです。
3	婚活支援事業とはどのような事業か。	「仲人養成事業」「独身男女の交流イベント」「結婚を応援する機運を醸成する講演会」が主な事業内容です。 仲人養成事業については新たに成婚に至った場合センターに対して報奨金を支払います。議会でも庁外への結婚サポートセンター設置などについても提言しています。
4	有害鳥獣対策と被害の現状は。また、電柵は効果的かもしれないが有害鳥獣の個体数を減らす対策をお願いしたい。	平成28年度の捕獲状況は、サル43頭、クマ12頭、イノシシ99頭、ハクビシン18頭でした。電柵等の効果もあってか被害総額は約1700万円に減少しました。効果的と思われる対策について引き続き提言してまいります。
5	狩猟免許取得の状況は。また、狩猟免許を取得したが、猟友会の戦力となるまでのフォローもお願いしたい。	狩猟免許取得者が何名いるかは把握しておりませんが、猟友会の人数は、36名です。狩猟免許取得と猟銃取得が全額補助となり、平成29年度4月の猟銃免許試験の受験者は昨年度よりも増加しているようです。取得後のフォローについては貴重なご意見として承ります。
6	防災ラジオの配布について内容を知りたい。	中川地区で蔵王山火山防災マップ内の融雪型火山泥流被害想定区域に当たる世帯に配布する予定です。

7	ふるさと納税の業者変更の内容は。また、寄附総額のうち本市財源になる割合は。	ふるさと納税のうち、返礼品の発送業務が観光物産協会に委託されました。寄附総額のうち、35%前後が市の財源となります。
8	地域おこし協力隊のシティプロモーションとはどんな活動か。	インターネット上の映像などを利用しながら地域の情報を発信し、移住定住に結び付ける活動です。
9	空き家の応急措置に関する条例についてもっとくわしく説明を。また、危険除去した際の費用負担先はどこになるのか。	空き家の管理・解体は所有者が責任を持つのですが、空家等に非常事態が発生した場合または危険が切迫している場合において、当該危険な状態を回避するためにシート、防護ネットの設置など必要最小限の対応をすることです。また、緊急かつやむを得ない場合は所有者等への通知、報告は事後にすることができる、費用は所有者の負担となります。
10	危険空き家解体に対する市の補助の内容は。	危険空き家と認められた空き家に対して補助額は解体費用の40%、上限が60万円までとなっており、平成29年度は、概ね10件程度の利用を見込んでいます。

2 意見交換における内容

(1) 議会に対するもの

	意 見 等	答 弁
1	政務活動費はいくらか。また、十分な活動を保証するために増額を検討すべきでないか。	一人1万円で年間12万円、個人ではなく会派に支給されます。増額については今後検討していきます。
2	議会基本条例を制定してはどうか。	現在のところ制定する考えはありませんが、必要となった場合、検討していきます。
3	政策提言について、意見が違う議員の意見をどうやって集約しているのか、そのやり方を伺う。また、事後の検証評価はどうしているのか。	会派ごとの要望を各会派の代表者会で集約しています。全会一致、議会の総意としてまとまった項目のみ提言しているため、反対者がいる場合は省いています。検証は、当局からの回答を受けて議会内で検討しています。
4	市議会議員をもう少し減らしてもいいのでは。	議員定数は、県内13市の中で最も少ない状況です。定数削減が市民のための議会改革になるかの議論を含め、しばらくは現状の定数で継続していく認識をもっています。

(2) 市に対するもの

	意 見 等	答 弁
1	昨年までは、放射性物質汚染により実施していなかった防火水槽の泥上げを今年は消防署からの通達により実施しなければならなくなつた。泥上げの量が多く、産業廃棄物扱いになると多額の費用もかかるため消防署に費用の助成等を要望しているが、泥上げも廃棄場所も消防団で手だてするように言われており、困っている。市として、泥上げに対する対策を講じるか、防火水槽の有蓋化を早く進めてほしい。	貴重なご意見として承ります。
2	全国的にヒアリの危険性が話題となっているが、市として状況を把握しているのか。	酒田港からのコンテナは上山市には搬入されていません。

3	クアオルトの観光面での効果、健康面での効果はどうなっているか。同じ人が集まっている印象があるので、議会としても提案してほしい。	議会でも積極的に質問しています。各地域にクアの道を整備していただいています。健康面での効果についてはデータを収集中とのことです。参加者の拡大については、貴重なご意見として承ります。
4	今後、少子高齢化・人口減少が進む中、どのように収入を確保し、支出を減らしていくか。	人口減少対策として婚活支援や企業誘致などを進めています。他市と比較して上山市の実質公債比率は県内中位ですが、将来の負担軽減のためにも中期財政計画に基づき事業を行っています。
5	公民館が避難所になっているが、トイレが和式であり、洋式化してほしい。	貴重なご意見として承ります。
6	農地の荒廃地が増えている。市全体で考えていくべき課題ではないか。きれいな元の山に戻していく観点が大事であり、補助制度をつくるなども考えられるのではないか。	空き家と同じように、所有者が適切に管理をしていくことが大事だと思います。園地整備の支援制度を利用することも有効であり、上限は110万円となっています。
7	下水道が整備されたが、市内公民館の下水道使用量は約2m ³ /月だが、すべて10m ³ /月の基本料金を払っている。市に減免を求めたが結果できないとの答えであった。議論のテーマとして考えてほしい。	貴重なご意見として承ります。
8	パートの女性労働者が出産のため仕事をやめた場合、保育園に入所している子どもが保育所の入所要件に該当しなくなり退所を余儀なくされることがあるが、退所しなくともいいようにできないものか。	妊娠を理由に保育認定をする場合については、産前8週間を有効期間としておりますが、妊娠初期のケースであっても、保護者の心身の状況を踏まえ、「保育の必要性がある」と診断されれば入所を継続することができる場合があります。 議会でも議論になった課題であり、今後も議論していきます。
9	旧宮生児童館をNPO法人に貸すようになってから4~5年経つが活動実績はどうなっているのか。	平成26年11月から貸し出しており、建物が老朽化していることから修繕作業を開始しました。実際の活動は平成27年度の途中からであり、夏場は敷地外、冬場は敷地内で親子エコスクールといった活動を実施しています。

10	みゆき病院前の側道についてスピードをあげて走る車がいる。対策が必要だ。	市道認定する際に、スピードを制限するため道路の幅が狭く見えるよう白線を塗装した経過がありますが、駐停車禁止も含めて改めて要望していきます。
11	移住・定住の現状と取り組みについて教えてほしい。	相談窓口が市役所内にあり、土日祝日も対応できるよう、市役所外への設置を働きかけています。
12	みゆき公園内にある環翠亭のトイレを水洗・洋式化してほしい。	貴重なご意見として承ります。
13	3つの中学校の今後の姿はどうなるのか。宮川中で好きな部活ができないことは不平等であり、教育の機会均等に反しているのと思う。統廃合など、3つの中学が今後どうなっていくのか、部活のあり方を含め心配している。	部活の問題は、山形市の中学校の事例などを引き合いに出しながら、議会の中で議論してきた経緯はありますが、具体的な動きまでには至らないのが現状です。より良いあり方を今後も模索していきます。
14	災害活動の避難経路の誘導の仕方がわからないので、避難マニュアルを作っていただきたい。	ハザードマップ等も作成しており、中川地区では具体的な避難方法も示しています。細部の避難方法については、各地区の自主防災組織で検討するのが基本です。
15	市営バスや乗合タクシーを市民が利用しやすいように改善してほしい。	市営バスの運行については、今まで意見を聞きながらルートや時間を改善してきた経過があります。 今後も住民が利用しやすい方法について議論していきます。
16	民生児童委員をしていて、灯油の助成金の未申請の人にお手伝いしようとしたが市では情報を提供してくれなかった。臨時福祉給付金なども同様で、申請資格があるのに申請手続きがその人にとつて煩雑で、申請できない人が現実に存在する。民生委員は守秘義務もあるのだから、情報提供してもいいのではないか。情報提供できないというなら、申請のありかたを改善すべきであろう。	臨時福祉給付金などの対象者については、申請資格が税法に規定する情報となり、本人の同意なくしては情報提供できない事項であるため、市の方で未申請者を確認し、再度通知するなどの対応をしております。民生児童委員の方々には、対象者からの問い合わせ対応や全体への周知について、引き続きご協力をお願いいたします。 貴重なご意見として承ります。
17	西山のクアオルトコースの木製標柱に地元産材を使うべきでないか。	議会でも引き続き市産材の利活用を要望していきます。
18	クアの道のコース整備に補助はでるのか。	開設の時に5万円の補助があります。

19	ケアオルトウォーキングは時間がかかるので、気楽に歩ける、まちなかウォーキングを進めてほしい。 古峯神社の通り、夜になると暗くて、女性などは怖くて通れない。	まちなかウォーキングは、健康づくりだけでなく、歩いて上山の良さを再発見できるなどのメリットがあり、普及拡大に努めたいと感じています。 古峯神社の通りは、照明を明るくするよう要望していきます。
20	ワインバルに関連した、市が潤うようなイベント事業は考えていなか。	これからワインを素材にしたイベント、ワイナリー巡りなどを開発しようとしているところです。
21	親水公園の風情を大事にする活動があればいい。なお、前川沿いの道路端のロープの位置が低く、川に落ちる危険性がある。	貴重なご意見として承ります。
22	第7次上山市振興計画で協創という言葉を掲げており、市民参加を促しています。様々なコミュニティ活動やボランティア活動を積極的に行ってもらうためにも市民活動保険の加入を検討してほしい。	貴重なご意見として承ります。
23	前川の水害対策について、砂利上げを行ったが、また堆積しているようだ。JRの橋脚にもたまっている。コンクリートの腐食も進んでおり不安だ。ぜひ駅から北中のあたりまで見てほしい。また上流は水が流れない状態だ。上流を守らなければ市内も守れない。	数年前の豪雨災害の際は、議会としても対応を検討し、県等に働きかけを行ってきました。一つ一つの問題について把握に努めてまいります。
24	消防団員のなり手が少なく困っている。勧誘にいっても親が本人に取り次いでさえくれないこともある。団によっては高齢化が深刻化している。 市では、どのような手立てが有効と考えているのか。	市全体としてはのぼり旗を立てるなど地区会長が動いているところもありますが、ほとんどの地区ではそこまでいっていないようです。 今後も、問題意識を持って議論していきます。
25	公園の遊具の管理はどうなっているのか。少子化対策の強化を打ち出すのであれば、遊具の補修などは市で行ってほしい。	市が直営する公園は市が、それ以外は地区で管理することになっています。地区で管理する公園でも、遊具の修理などについては一定の補助が出ますので、相談してみて下さい。
26	平成29年度のふるさと納税の現状と目標額は。	返礼品の募集と取りまとめの遅れにより出遅れましたが、今は昨年同時期と比べて上回っている状況です。目標額は15億円です。

27	カミンの負債処理はどうなったか。カミンの再整備にあたり、もっと市民意見の反映を。	市の負債はありません。各テナントで構成されていた、協同組合の負債については現在債権者である県と協議中のようです。再整備については議会としても引き続き意見・提言してまいります。
28	カミンの店舗がなくなり買い物に困っている。買い物難民を解消する手立てがないか。	買い物が困難な方のために全国的にいろいろな取組も行われていますが、官民協力し知恵を出していきたいと思います。
29	(仮称) 上山 I・C 産業団地への立地企業は決まったのか。	決まったとの報告はまだありません。なお、議会から市長への政策提言の中には産業団地完成までに立地企業を決定するよう要望しています。
30	駅舎内の観光案内所の窓口が閉まっており、観光客が困っていた。駅前に建設予定の観光交流施設ではそのようなことがないよう対応してほしい。	新たな施設ではその点も考慮したうえで、開設時間などについても観光客のニーズにあうよう要請しています。
31	さくらんぼ、ぶどう等についての補助金があるが、さくらんぼ狩り客など観光客の増加や、上山のさくらんぼを売り込むためのPR策へも注力すべき。他市に比べPRが不足していると感じるので、官民挙げて取り組むべきでは。	市長による県外向けのトップセールスや、ブランド化に向けた取り組みも行われていますが、産地としてのインパクトと評価を上げるため持ち帰り検討します。
32	既存の施設を活用する方法も含め、温泉健康施設の決定に至るまでもっと市民の声を反映させるべきでは。	市民の代表を含む検討委員会での議論が長らく行われ、また市民の意見を反映させるためパブリックコメントを求めるなどしてきましたが、引き続き市民の理解と状況の周知に努めるよう議論し、提言してまいります。
33	温泉健康施設の運営方法は。	厚労省の認可を受ける健康施設とするため、医療機関の協力を得ながら、民間の運営も視野にいれ検討しているとの回答をうけています。
34	草が生い茂った空き家が各地区、それぞれの近隣にたくさんある状態だ。管理は誰がするのか。	基本的に所有者がしなければならないものと考えます。